



《将来に向けた取組方針》

大気社はその名の通り、主として自然の恵みである「空気」の利活用により事業を営んでいますが、「空気」のほかに生物多様性を含む自然環境からのさまざまな恵みの享受のうえに成り立っており、これらが将来の持続可能な社会にとって重要な基盤であることを深く認識し、自主的・積極的に自然環境の保全および改善のための行動を推進します。

〈具体的取組み事例〉

生物多様性に配慮した調達活動

現場事務所の備品の調達にあたっては、森林生態系の保全への配慮のため、「やまなし県有林活用温暖化対策プロジェクト」のカーボン・オフセット・クレジットが付与された物品を採用しています。



森林保全のための間伐作業の様子（山梨県）

植物工場事業の取り組み

安全・安心な野菜生産に対するニーズが高まる中で、当社では、強みである空調制御技術をベースに完全人工光型植物工場事業を展開しています。植物工場での野菜生産には、露地栽培に比べクリーンな環境下で計画的に（定時・定量・定質・定価で）野菜を生産できるメリットがありますが、さらには生物多様性や生態系への配慮の観点からも、閉鎖空間で外界からの害虫や菌類が混入しないことから農薬を使用せずに生産できる、水洗浄工程が大幅に削減できるといったメリットがあります。

